

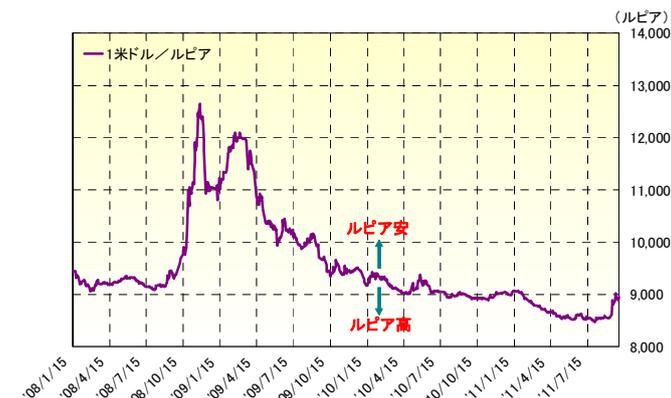


### 運用実績の推移



※ 上記の実績は信託報酬および成功報酬等差引き後の1口あたり純資産価格の推移  
※ 指数はベンチマークではなく参考数値(設定日を100として指数化して表示)

### 為替の推移(参考)



### 組み入れ状況

組み入れ上位10銘柄				コード	種別	純資産比	業種別組み入れ状況	
1	グダンガラム	GGRM IJ	農業	9.70%	1	農業	21.37%	
2	アストラ・インターナショナル	ASII IJ	小売業	9.41%	2	小売業	16.49%	
3	スルヤ・チトラ・メディア	SCMA IJ	マスコミ	7.91%	3	不動産業	16.21%	
4	シブトラ・スルヤ	CTRS IJ	不動産業	6.06%	4	マスコミ	7.91%	
5	インド・モバイル・スクセス	IMAS IJ	小売業	5.17%	5	石炭	6.59%	
6	マンディリ銀行	BMRI IJ	銀行業	4.98%	6	銀行業	4.98%	
7	チブトラ・デベロップメント	CTRA IJ	不動産業	4.11%	7	情報・通信	4.00%	
8	BWプランテーション	BWPT IJ	農業	4.04%	8	建材	3.98%	
9	テレコミュニケーション・インドネシア	TLKM IJ	情報・通信	4.00%	9	土木建築	3.34%	
10	サンボエルナ・アグロ	SGRO IJ	農業	3.38%	10	その他機械装置	2.31%	
計						58.76%	計	87.18%

本資料4ページ以降に記載されておりますファンドのリスクおよび留意点、費用、当資料のお取扱についてのご注意等の事項を必ずご確認ください。

◇管理会社:

FCインベストメント・リミテッド



### ファンド概要

形態: ケイマン籍/契約型外国投資信託(米ドル建て)  
 設定日: 2008年1月11日(金)  
 投資運用会社: フィリップ・キャピタル・マネジメント(S)リミテッド  
 管理会社: FCインベストメント・リミテッド  
 申込単位: 10口以上1口単位

### 資産状況

純資産価格 (米ドル)		資産別構成比 (米ドル)	
純資産価格 (1口あたり)	129.69	株式	773万 96.73%
純資産総額	799万	現金他	26万 3.27%
		合計	799万 100.00%

### 期間別騰落率 (ファンド基準日ベース)

期間	ファンド	JCI指数	1米ドル/ルピア
1カ月	-9.97%	-7.62%	4.50%
3カ月	-7.94%	-8.73%	4.32%
6カ月	0.73%	-3.52%	2.78%
1年間	1.01%	1.36%	0.47%
設定来	29.69%	30.00%	-5.17%

※ 上記の実績は信託報酬および成功報酬等差引き後の数字。

### 運用報告およびマーケット概観

#### ● マーケット概観

9月のジャカルタ総合指数は一時52週振りの低水準まで急落する場面もありましたが、その後回復し、前月末比-7.6%の3,549で月内最終取引を終了しました。無券面化株式の外国人投資家の保有比率は8月の61.1%に対して横ばいで、当ファンドが2008年8月に預託データの記録を開始して以来の最低水準が続いています。

#### ● 市場の見通しと今後のポートフォリオ戦略

主要な組入銘柄の変更はありませんでした。

インドネシア経済は、不確実な世界の成長環境の中でも底堅く成長すると見込まれ、また難局を乗り越えてきた長い歴史がありますが、短期的には流動性規則の影響が予想されます。その一方で、遠からず絶好の買い時が到来することが十分期待されます。当ファンドは、処分売りで底値になったと見られる銘柄の購入リストの作成を始めることも考えています。

### 組入れ上位銘柄

#### ● グダンガラム(GGRM J) (前月比4.55%下落)

インドネシア最大のクレテック・シガレット(丁子入りたばこ)生産メーカーです。強力なブランド力と価格設定力を有しており、政府による物品税引き上げを商品価格に転嫁することができます。

実質無借金企業であり、高収益体質と高水準のフリーキャッシュフローを基盤に、この数年間、配当性向は上昇し続けています。バリュエーションは依然として魅力的です。GGRMの2012年度予想PERは17倍ですが、これは、2005年にフィリップモリス インターナショナルがHMサンポエルナ社を買収した際のPERの19.5倍や2009年にブリティッシュ・アメリカン・タバコ(BAT)社がベントール社を買収した際のPERの29倍を下回っています。

#### ● アストラ・インターナショナル(ASII IJ) (前月比3.78%下落)

インドネシア最大の自動車関連コングロメリット企業です。自動車以外では、金融サービス、農業、情報テクノロジー、重機械などを主要事業として手掛けています。

好調な経済成長と低金利政策(5年平均の8.6%に対して現在は6.75%)による安価な資金調達の恩恵を受けて、自動車業界は爆発的な成長を遂げています(5年間の年平均成長率は19%)。自動車普及率は1,000人当たり46台弱といまだ低く、また中間所得層が急増していることもあり、自動車保有率は今後も大幅に上昇する余地があります。

2011年第2四半期の純利益は、市場予測に一致する前年同期比25%増となりました。下半期はこれをさらに上回る増益が予想されます。

株主資本純負債比率は45%と財務体質は強固です。30%の高い株主資本利益率(ROE)に対して、2012年度予想PERは13倍であり、バリュエーションは妥当な水準にあります。

#### ● スルヤ・チトラ・メディア(SCMA IJ) (前月から変動なし)

インドネシアの大手テレビ局の一角を占めています。インドネシア国内230都市に向けて番組を放送しており、潜在的な視聴者数は1億7,000万人です。

サッカーのインドネシア代表チームのワールドカップ予選の独占放映権を保有しています。こうしたスポーツ番組はインドネシアで非常に人気があります。

2011年上半期の純利益は、アナリストの予測を上回る前年同期比+81.8%の増益となりました。

実質無借金企業です。

株主資本利益率(ROE)は40%、配当利回りは5.5%と高水準ですが、2012年度予想PERは13.4倍とバリュエーションは低水準

本資料 4 ページ以降に記載されております **ファンドのリスクおよび留意点、費用、当資料のお取扱についてのご注意**等の事項を必ずご確認ください。

◇管理会社：

FCインベストメント・リミテッド



です。

● **シブトラ・スルヤ(CTRS IJ)** (前月比3.26%下落)

インドネシア屈指の大都市、スラバヤ大都市圏(総人口1,500万人)を拠点にする著名な大手不動産デベロッパーです。代表的な開発案件はチトラランドという都市で、540ヘクタールの未開発地が残っており、工事は今後15年以上続く可能性があります。新規案件に関する成約率は好調で、社内の売上目標である前年比+65%の増収を達成できる売上ペースを維持しています。スラバヤ地区周辺の不動産売価は、過去5年間の年平均上昇率がわずか8%だったのに対して、この6カ月間で急騰(40%上昇)しました。

株主資本純負債比率は4%で、財務内容は健全です。

同社の株式はインドネシアで最も割安な不動産銘柄の1つで、株価水準は純資産価格(NAV)である2,120ルピア/株を58%下回っています。唯一の懸念材料は流通株数が少ないことです。

● **インド・モビル・スクセス(IMAS IJ)** (前月比4.46%下落)

アストラ社に次ぐ国内2位の自動車メーカーです。日産自動車、日野自動車、インフィニティ、アウディ、フォルクスワーゲン向けの自動車の製造・流通を受託しています。

2011年および2012年に強力な新製品を取り揃えています(日産「マーチ」、「ジューク」、「セレナ」および「NV200」)。

2011年上半期の利益は、アナリストの予想を上回る前年同期比75%の増益となり、下半期はさらに大幅な増益が見込まれます。

2012年度に関して、35%の増益予想に対して予想PERは10.5倍です。比較ベースが低水準であることによる大幅な増益率は魅力的ですが、現在のバリュエーションも割高に見えます。すべては、市場シェアを2013年までに10%へと倍増するという日産の強気な計画の成否にかかっています。

## ファンドの特色

- サブ・ファンドの投資目的は、以下のインドネシア関連の株式および株式関連証券(ワラントおよび転換証券を含みます。)に分散投資することにより、中・長期における元本の成長を実現することです。
  - － インドネシアの公認の証券取引所に上場している企業により発行されたもの。
  - － インドネシアにおいて設立された企業、またはインドネシアにおいて主たる事業を営むか、もしくはその事業においてインドネシア経済の影響を受け、かつインドネシア以外の証券取引所に上場している企業により発行されたもの。
  - － 将来インドネシアにおいて業務を遂行する可能性を有し、かつインドネシア以外の証券取引所に上場している企業により発行されたもの。
- 投資運用会社は、グロース投資の手法を採用し、従来の考え方にとらわれることなく、継続的に新たなトレンド、割安成長期待株を探し、投資を行います。投資運用会社は、インドネシア経済の高まる自由化の恩恵を受ける企業に出資するよう努めます。

## ご留意事項

投資者は、ファンド証券の価格が上昇することも下落することもあることを認識すべきです。したがって、買戻しまたは償還に関して投資者が受取る金額が、投資元本を下回ることもあります。

ファンドの信託財産に生じた損益はすべて受益者のみなさまに帰属します。ファンドは投資元本が保証されているものではありません。

ファンドへの投資のリスクには以下が含まれますが、下記の記載はファンドへの投資に伴うリスクをすべて説明するものではありません。

## 主要なリスクおよび留意点

- ファンドの価値は、為替レートおよび為替管理規制により有利または不利な影響を受ける場合があります。投資運用会社は、為替リスクをヘッジすることを企図していません。
- ファンドの投資ユニバースに含まれる一部の国々の株式市場における取引高は、世界の主要株式市場における取引高よりも大幅に少ないことがあり、かかる市場における決済および保管実務は、世界の主要株式市場の実務と比較できる程度のものでなく、これらの結果として、ファンド証券の価格が変動する場合があります。また、世界の主要株式市場に比して流動性が低い場合があり、その結果として、投資対象の取得および処分が遅延する、またはかかる取引の決済が不利な価格で行われる可能性があります。
- 証券の価格は、経済情勢、政治情勢および金利の変動ならびに証券に対する市場の認識の変化に応じて上下する場合があります、これに起因して、ファンド証券の価格が上下することがあります。
- ファンドは、政府および企業の債務に投資することがあります。ファンドが政府または企業が将来債務不履行を起こす証券には投資しないとの保証はありません。
- 投資運用会社は、ファンドの投資ユニバースに含まれる一部の国々において取引を行う相手方当事者に関する信用リスクにさらされる場合があります。
- 投資運用会社は、ヘッジ目的または効率的ポートフォリオの運用目的に限定してデリバティブ商品を利用し、かかるデリバティブ商品は、ポートフォリオ全体をレバレッジするために利用されることはありません。

※ 詳しくは請求目論見書本文の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 3 投資リスク」をご覧ください。

## その他の重要な事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 取得のお申し込みにあたっては、販売取扱会社にて契約締結前交付書面および最新の目論見書をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

本資料 4 ページ以降に記載されております**ファンドのリスクおよび留意点、費用、当資料のお取扱についてのご注意**等の事項を必ずご確認ください。

◇管理会社：

FCインベストメント・リミテッド



## ファンドに係る手数料等について

### 投資者が直接的に負担する費用

**購入(申込み)時手数料** 日本国内における申込手数料は、以下のとおりです。

申込口数	申込手数料
5,000口未満	3.150%(税抜き3.00%)
5,000口以上10,000口未満	2.625%(税抜き2.50%)
10,000口以上	2.100%(税抜き2.00%)

**換金(買戻し)手数料** かかりません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

<b>管理報酬</b>	ファンドの純資産総額に対して年率0.10%(毎月後払い)
<b>受託報酬</b>	ファンドの純資産総額に対し年率0.125%(毎月後払い、毎月最低2,000米ドル) また、受託会社は、ファンドの登録事務代行会社として、予め確定した人数の投資者について年3,500米ドルを超えない額(毎月後払いで比例配分に基づき支払われます)も請求します。
<b>投資運用報酬</b>	ファンドの純資産総額に対して年率0.70%(毎月後払い) また、投資運用会社は、各暦四半期末に計算され、後払いされる実績報酬の支払いを受ける権利を有します。 実績報酬 =【受益証券の1口当たり純資産価格－ハイ・ウォーターマーク】×10%×当該四半期末の発行済受益証券口数
<b>代行協会員報酬</b>	ファンドの純資産総額に対して年率0.20%(毎月後払い)
<b>販売報酬</b>	ファンドの純資産総額に対して年率0.50%(毎月後払い)
<b>その他費用・手数料</b>	ファンドの直接の運営費用(公租公課、銀行取引手数料、券面印刷費、信託証書およびファンドに関するその他一切の書類の作成および/または提出および印刷費用、マーケティング費用、合理的な額の弁護士、監査および会計士の手数料および費用等を含みます。)がファンドの信託財産からのみ支払われます。 上記手数料等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することができません。

### 税金

税金は表に記載の時期に適用されます。以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税および地方税	配当所得として課税 分配金に対して10%
換金(買戻し)時 および償還時	所得税および地方税	譲渡所得として課税 換金(買戻し)時および償還時の差益(譲渡益)に対して10%

- ・上記は、平成23年6月30日現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- ・法人の場合は上記とは異なります。
- ・税金の取り扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

### お申込メモ

<b>購入(申込み)単位</b>	10口以上1口単位
<b>購入(申込み)価額</b>	取引日における受益証券1口当たり純資産価格
<b>購入(申込み)代金</b>	投資者は、申込み注文の成立を販売会社が確認した日(以下「約定日」といいます。)から起算して日本での4営業日目までに申込金額を販売会社に対し円貨で支払うものとします。
<b>換金(買戻し)単位</b>	1口単位
<b>申込締切時間</b>	販売会社の定める時間とします。
<b>購入の申込期間</b>	平成23年7月1日(金曜日)から平成24年6月29日(金曜日)まで。 お申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。
<b>換金(買戻し)制限</b>	クローズド期間、大口解約の制限等はありません。
<b>信託期間</b>	2107年12月31日まで
<b>決算日</b>	毎年12月末日
<b>収益分配</b>	管理会社は、その単独の裁量により、収益ならびにファンドの実現・未実現キャピタル・ゲインの分配を行うことができません。管理会社は、現在、ファンド証券に関して分配金の支払いを予定していません。
<b>信託金の限度額</b>	ファンドにおける信託金の限度額は、特に定めがありません。
<b>運用報告書</b>	ファンドの計算期間の終了(毎年12月末日)およびファンドの運用の終了後に、期間中の運用経過および、ファンドが保有する資産の内容などを記載した運用報告書を作成します。運用報告書は、販売会社を通じて受益者にお渡します。
<b>課税関係</b>	課税上は公募外国株式投資信託として取扱われます。

本資料4ページ以降に記載されております**ファンドのリスクおよび留意点、費用、当資料のお取扱についてのご注意**等の事項を必ずご確認ください。

◇管理会社:

FCインベストメント・リミテッド



## 管理会社、その他関係法人の概況

管 理 会 社	<u>FCインベストメント・リミテッド</u> 2006年11月10日付で基本信託証券を受託会社と締結。また、2007年11月12日付で補遺信託証券を受託会社と締結。(以下、基本信託証券と併せて「信託証券」といいます。)ファンド資産の運用管理、ファンド証券の発行・買戻業務を提供します。
受 託 会 社 登 録 事 務 代 行 会 社	<u>HSBCトラスティ(ケイマン)リミテッド</u> 2006年11月10日付で基本信託証券を管理会社と締結。また、2007年11月12日付で補遺信託証券を管理会社と締結。ファンド資産の管理・保管業務および登録事務代行業務を提供します。
代 行 協 会 員 日 本 に お け る 販 売 会 社	<u>藍澤証券株式会社</u> 2007年11月14日付で管理会社との間で代行協会員契約を締結。代行協会員業務を提供します。2007年11月15日付で管理会社との間で受益証券販売・買戻契約を締結。受益証券の販売・買戻業務を提供します。
投 資 運 用 会 社	<u>フィリップ・キャピタル・マネジメント(S)リミテッド</u> 2006年11月10日付で投資運用契約を管理会社と締結。ファンド資産の運用業務を提供します。

## 当資料のお取扱についてのご注意

- 本資料は、フィリップ・キャピタル・マネジメント(S)リミテッドが当ファンドの運用状況に関する情報を受益者に提供することを目的として作成したものを翻訳した販売用資料です。
- 投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 本資料は、信頼できると判断される情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や真実性を保証するものではありません。本資料に記載された見解は基準日におけるものであり、予告なく変更されることがあるほか、その実現性を示唆または保証するものではありません。
- 本資料に記載のグラフ・数値等は過去のものであり、当ファンドの今後の成果を保証・約束するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。



商号等 : フィリップ証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第127号  
(本社) 東京都中央区日本橋兜町4-2  
加入協会 : 日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

本資料4ページ以降に記載されております**ファンドのリスク、費用、当資料のお取扱についてのご注意**等の事項を必ずご確認ください。

◇管理会社:

FCインベストメント・リミテッド 